



からしだね

2020年11月号

(564号)

キリストの受難 カトリック池田教会

主任：ノノイ・プラザ神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：<http://catholic-ikeda.sakura.ne.jp/church/index.htm>



本号の記事の主題など

巻頭言：稲葉善章神父による

「池田教会の皆様へ“感謝致します。”」

ヨセフ稲葉善章助祭の叙階式

みんなの談話室

・世間は虚仮(こけ)、唯イエスのみ是(これ)真(まこと)なり

・クリスマスカードを送りました！

・ヒトとウイルスの共生

今月の表紙写真について

10月の年間行事予定の変更・追加

巻頭言

池田教会の皆様へ、“感謝致します。”

稲葉善章 CP

皆様の姿から神の国を見ること、体験、体感させて頂いた私には、皆様へ私の気持ちをお伝えできる言葉は、この言葉しか思いつきません。叙階式の為に準備し、支えてくださったこと、そして、耐震工事を通して、私に励まし、勇気、力づけを皆様は、私に与えてくださいました。皆様は、叙階式に向けて、聖堂の耐震工事を進められました。工事を始めるにあたり、多くの時間を使って、話し合いを持たれたことでしょう。多くの意見、相違があったことでしょう。それを経て、皆様は、聖堂の耐震工事を行うという意見で一致されました。

工事期間中は、カール記念館を聖堂の代わりにされました。多くの不便さを感じられたことだと思います。また、コロナ対策も強いられました。ソーシャルディスタンス、消毒の徹底、不便さに加え、心配、不安をも抱えました。この様な困難の中、この困難を乗り越える為にとても大切なことは、お互いがお互いを尊重し、助け合うこと、協力し合うことです。皆様は、これらを当たり前のように、日常生活の中で行動されました。これこそ、一致です。

だからこそ、皆様は、聖堂の耐震工事に伴う困難を乗り越えられました。この一致こそ、共同体の姿であり、教会の姿であり、神の国です。私は、皆様のこの姿から間近に神の国を見、感じ、励ましを受けました。この励ましは、叙階前の私の背中を押してくれました、そして、叙階された私には、力を与えてくれました。力づけられた私は、神様の計らいを確信しました。

神様は、教会に呼び集める一人一人を一致へと導いてくださる。教会共同体としてくださる。神の国の実現をこの現代に示してください。私たちは、一人一人が個であ

りますけれど、私たちは、主イエス・キリストによって、神様の前で、一つにされてゆく者であること。これらの神様の計らいを、皆様は、日常生活の中で、私に見せてくださいました。

そして、さらに叙階式の準備、叙階式当日の式の支え、また陰となって支えてくださいました。この支えも、一致です。共同体の姿であり、教会の姿であり、神の国です。私は、皆様のこの姿からもまた、間近に神の国を見、感じ、励ましを受けました。ありがとうございました。そして、池田教会の明るい未来を見せてくれた侍者のみんな、そして叙階式当日は、学校等の事情で来ることができなかったみんな、みんなはとても、たいへん素晴らしい侍者の働きそして祈りをしてくださいました。ありがとうございます。みんなは、神様から豊かにめぐみを、良いものを頂いています。みんなには、日曜学校の子供たちにみんなが神様から頂いているその良いものを伝えていって欲しいです。伝えてゆく時、君たちだけでは、ありません。心配はいりません。池田教会の皆様がおられます。神父方もおられます。私も協力します。みんな、良いものを大切にしてください。

叙階式、聖堂の耐震工事を通して、私に神の国を見せ、体感させてくださった池田教会の皆様へ感謝致します。ありがとうございました。これからも皆様とご一緒に歩ませて頂かせてくださいますように、願いながら。

神の恵みのうちに、ヨセフ稲葉善章助祭の叙階式

9月26日(土)の13時から、池田教会でトマス・アキナス前田万葉大司教の司式により、ヨセフ稲葉善章助祭の司祭叙階式のミサが厳かに執り行われた。稲葉助祭はオーストラリアのメルボルンで研さんを積んでおられたが、コロナウイルスの影響で予定を早めて急遽帰国なさり、晴れてこの日を迎えられるのだった。

叙階式は御受難会の司祭や来賓の北摂地区司祭、関口教会の天本神



③ 稲葉助祭の司祭叙階を按手で祈る前田万葉大司教

父、修道者の方々が前田大司教を取り囲むようにして進行した。前田大司教は稲葉助祭を呼び出し、司祭にふさわしい者であると認められたことを告げ、司祭団に加えたいと宣言した。そして稲葉助祭に諄々と語りかけながら、司祭となる覚悟をあらためて求められた。仕える者として来られたイエスに仕えなさい、神のことばである、福音を伝える者となりなさい、祭司として、牧者としての職務を果たしなさい、と諭された。最後に「仕合せの御受難会の稲穂かな」というご自作の俳句をプレゼントされ、仕え合う仕合せ、実るほどにこうべを垂れる稲穂のイメージ、稲葉と稲穂のかけことば、を解説された。

稲葉助祭が受階にあたって誓いを立てたあと、「諸聖人の連願」の美しい祈りの声が堂内を満たした。受階者は床にひれ伏して神の恵みを祈った。司祭全員の按手を受け、祭服を着衣し、塗油されて、新しい司祭が誕生すると、人数制限された出席者から、熱烈な拍手が沸き起こった。誰もが感激していた。神の恩寵を感じたひとときであった。

司祭となられた稲葉善章神父はすべての人々へ感謝の言葉を述べ、主の励ましと皆様のお祈りを必要としております、と結ば

れた。今回はコロナ禍により、聖堂には限られた人数しか入ることがかなわなかったが、メルボルンでも戸塚でも池田でも、多数の人々がYouTube 配信を視聴して、ともに祈った。

式後、宝塚黙想の家で祝賀パーティが催され、翌27日の第26主日には、信徒たちが集い、稲葉善章司祭による初ミサが捧げられた。

稲葉善章神父様の叙階を祝して

評議会議長

新型コロナウイルス対策で世間も教会活動も疲弊しきっていた中で、稲葉助祭の司祭叙階という非常に大きな喜びがありました。それも耐震工事と並行で普段馴染みのない叙階式を苦勞して準備し、耐震工事も叙階式も無事完了できたことは池田教会信徒の皆さんの協力をなくしては成しえなかったことで皆さんにも感謝しています。ありがとうございました。

稲葉神父さんがこれからどのような形で池田教会に関わっていただけるのか分かりませんが、司祭としてご指導いただく機会も多々有ろうことかと思っております。今後のご活躍に期待しています。



①司教は「仕合せの仕え合いによつて」と説教された。



②受階者は誓いを立てた。



④司教の叙階の按手（前ページの③）後に、山内準管区長やノノイ神父など共同司式者の司祭が按手を行った。



⑤司教は受階者に塗油を行い、叙階が成立したと宣明。



⑥稲葉新司祭は感謝の挨拶を行った。



⑦叙階式終了後に、前田万葉司教と稲葉善章司祭を中心に共同司式者や御受難会修道士、侍者の皆さんとの記念撮影。池田教会の新装なった聖堂を背景にして。



左：翌27日に初ミサを捧げる稲葉善章新司祭。

右：初ミサ後、日曜学校の生徒からお祝いの花束を受ける新司祭。



11月のガラスケースのみことば

わたしがあなたがたを愛したように
あなたがたも互いに愛し合いなさい

ヨハネ 13:34

(福音宣教委員会選)

みんなの談話室 三編

世間は虚仮(こけ)、唯イエスのみ是(これ)真(まこと)なり 直

「イエス」を「仏」に置き換える必要がありはする。そうしないと聖徳太子の言葉にはならないから。(大乘)仏教への帰依が深かった太子をしのび、かれの死後、妃(きさき)のひとり橘大郎女(たちばなのおおいらつめ)がつくらせたという「天寿国繡帳」(てんじゅこくしゅうちょう)に縫い込まれた一節。生前語っていた「天寿国」に太子は往生したにちがいない、と未亡人となった彼女は信じた。そこで太子の遺徳をしのび、この帳(とばり)をつくらせた。七世紀前半から後半のことという。(東野治之『聖徳太子』、吉村武彦『聖徳太子』)

「天寿国」とは天界をさす。天界は人間界のあなたにあり、欲界、色界、無色界の三界にわかれ、五六億七千万年後に人間界に降りてきて、救いに漏れたすべての生き物を救われるという弥勒菩薩(みろくぼさつ)が住まわれるところでもある……つまり浄土である。人間救済といい、慈悲に満ちた絶対者のもとにあって永遠の命をえる発想といい、極楽といい、仏教もキリスト教もエッセンスの部分では、けっこう似ていると思わせる。「天のいと高きところには神に栄光」と歌うわたしたちの発想そのものではないか。比較宗教学というようなアカデミックな話をしてるのじゃない。そうじゃなくて、人

生と、それを終えたのちに、われわれが訪れることになる世界をどう理解しようとしているかを比べるとき、長い歴史をもつ安定したふたつの宗教が共通してわれわれにあたえる安らぎ、について言うだけである。

ここ数年、池田教会の長老たちが、次々に帰天してゆくのを見るにつけ、おのれの半生をふり返るとき、太子の言葉がしのばれる。「世間は虚仮」とは言い得て妙である。仏教は「一切は空」(『コレヒトの手紙』そっくり)と考えるらしい。そうした徹底した透明なニヒリズムに浸り込むことは、わたし自身にはない。けれども苦勞して書いた本、何年もかけて訳した本、それがなんだったのだろう、とふと考え込むときも、やはりある。ちよつとした成功や、若いときには不必要に大きくみえた失敗も、いまとなってはたいして意味があるとはみえない。実体を失ったうたかたの夢のようでもある。

厩戸皇子(うまやどのみこ)が生きた時代、多くのひとびとが仏教に帰依した。それはまず、物質的な繁栄と名声を願うためだった。ひとびとにとって世間とは、なにより「この世」だったのである。いまのわたしたちだって、それほど変わらないだろうから偉そうなことは言えまい。だが仏教の教えを理解した皇子は、栄華や名声など、しよせん仮のものでしか

ない、と喝破した。病床にあって我が子に教え諭したという。イエスの弟子たちが、彼の教えを生前十分には理解できぬまま、あの世で自分は、どれだけ「偉くなる」のでしょうか、と師に尋ねたと変わらない。「あの世」を正しくとらえることの難しさは、洋の東西を問わないのだろう。

「理屈」として理解するのでなく、現実のイメージとしてあの世を思い浮かべ、この世を去ったのちは、神(イエス)の元で生きつづけると確信することは、キリストを信じる者のアルファでありオメガである。そうした境地に至ることができるよう、きょうも祈る。

クリスマスカードを送りました！

久保 昌子

皆様に作っていただいたクリスマスカードを、お菓子と一緒に南アフリカのセント・フランシス・ケアセンターとアップワース・チルドレンズビレッジに送らせていただきました。

このような状況の中でも、南アフリカの子どものことを忘れずお祈りくださったことに心より感謝いたします。コロナの影響もあり、クリスマスまでに無事届くかはわかりませんが、無事に届いて外部から会いに来てくれる人もなくさみしい思いをしている子どもたちの元気の源になることを願っています。

セント・フランシス・ケアセンターでは、感染者もなくみんな元気に過ごしているようですが、ボランティアや家族の面会は一切できず、そのため里親探しや家族と再び暮らしていけるようにするための活動が一切できない状態だそうです。このような状況の中でも懸命に働くスタッフやたくましく生きる子どもたちのために、どうぞお祈りください。

クリスマスカード送付に関わる会計報告をさせていただきます。子どもたちとスタッフの写真を送っていただいたので、合わせてご覧ください。



☆ 会計報告 ☆

お菓子代	1,000
郵送料(航空便)	6,100
合計	7,100

生物の共生 I …ヒトとウイルスとの共生

T.O.

WHOによってパンデミックとされた新型コロナウイルス感染症は日本においても人々の生命と社会的な経済活動に大きな脅威となっている。感染直後の呼吸器疾患特有の咳やクシャミ、発熱などの症状が現れる前に強い感染力を発揮していたし、わたしのような高齢者が感染した場合の死亡率が高率だったためであった。その不安感が尋常でなく、密閉、密集、密接の三密を避けて篋りきりの生

活を送る中で8年前に走り読みした「破壊する創造者—ウイルスが人間を進化させた」(フランク・ライアン著、早川書房刊、2011)をもう一度読み直して、コロナウイルスの姿を把握したい思いに駆られた。

その結果は医者であり、進化学者である著者の治療者として使命感と生物の進化論に信頼を置く楽観的なウイルス像が浮んできた。それどころ

か、考古学的な手法によって、ウイルスが哺乳類の霊長類(ヒト科も含む)に鎮入して、自らの遺伝子ゲノムを哺乳類種の生殖細胞の核にあるゲノムと結合してヒトへの進化系統樹を出現させたという驚くようなアイデアが示されていた。

哺乳類などに侵入して様々な種類の細胞核のゲノムを攪乱したレトロ・ウイルスの例が20世紀の後半から確認されるようになった。今回の新型コロナウイルスは肺細胞ばかりでなく、鼻喉や気管、消化器系の細胞の核に接合して、ウイルスの自己複製に成功していて、発熱や咳の症状を呈する発症前段階で早々と増殖させて、それらのウイルスを口や鼻、肛門から排出させたい。しかし、侵入された宿主個体の一部の細胞の機能を停止させて、その個体が死に至り、結合したウイルスも運命を共にした事実を確認できたのは20世紀の後半にすぎない。宿主の免疫機能(非自己である物質を壊して、自己を守る)を不全にしたエイズ(HIV)、21世紀に入ってからは、成人T細胞白血病やSars肺炎などの発症は世界の医学界に大きな衝撃を与えた。

21世紀に入ってからは、レトロ・ウイルス遺伝子が哺乳類の生殖細胞ゲノムへ内在性化した時期は宿主の化石が生成した最古の時として決められた。

ヒトの生殖細胞核にある遺伝子は21世紀の幕が開いた時にそのゲノムが分析され、DNA構造が明らかになったので、ゲノムの各部分が果たしている機能が解明され始めた。

それによると、人の生命活動を支える酵素たんぱく質を作る設計図として現在でも働いている部分はなんとゲノム全体の1.5%しかないことが分かった。9%はこの5千万年の間にホモサピエンスが出現する以前の哺乳類の標本化石の中や生存する霊長類(の生殖細胞)のゲノムに内在性化したレトロ・ウイルスを起源とする。さらに、約40%はレトロ・ウイルスのゲノムに起源を持つ動く遺伝子と呼ばれる。レトロウイルスの核酸RNAから、条件を満たせば、核酸DNAを作成し、そのDNAを自己のゲノムやヒトのゲノムに転移して、自己のゲノムとヒトのゲノムを書き換えて、遺伝子の機能増進やヒトに遺伝病を誘発させたり、器管の誕生や機能増進を生み出してきたと推定されている。所謂遺伝子工学による植物の果実の収穫増進もこの事実に基づいて置いている。

数千万年という間に哺乳類の前頭葉が発達した時や卵生哺乳類(ハリモグラやカモノハシ)から有袋類哺乳類(コアラやカンガルー)、胎生哺乳類(普通の哺乳類、類人猿など)、サピエンスが出現した時にレトロ・ウイルスのゲノムの内在性化する頻度が大きくなっている。哺乳類の生殖細胞のレトロ・ウイルスがかなりの頻度で内在性化したために、自然選択に適っていた哺乳類の進化が三千万年間に度々起こったと解釈されている。

進化が起こった期間はヒトの個体寿命(百年)の 10^6 倍の長さがあるので、内在性化されたレトロ・ウイルスを持つヒトのゲノムが自然選択されて、ヒト科のゲノム交替が起きるには数世紀を要するようである。共生が進化につながるとしてもヒトが自覚できるとは言い難い緩慢さである。

レトロ・ウイルスという原始的な単細胞生物の核RNAしかない種とのゲノム共生だからこそ卵生哺乳類から胎生哺乳類、類人猿、ヒトへの脳の拡大や2足歩行による手指の機能向上などの大きな身体進化が可能となったことに注目したい。京都大学前総長を務めた山際寿一氏が著書「ゴリラからの警告」で指摘しているように、その自然的な身体進化なしには、ヒトが父母ばかりでなく地域共同体による20年の長期に亘る保育文化を生み出せなかったであろう。

単細胞生物の原始的な細菌(原核細菌)と遺伝情報を担う核が膜で保護された真核細菌との間の性質の差は大きく、それらの細胞の融合が、極小のサイズを持ち、変異しやすいレトロ・ウイルスのゲノムの内在性化によってダーウインのゲノムの突然変異の機会を増やし、その変異体が動物と植物の両進化系統樹を速めたと同様に、哺乳類の生殖細胞とレトロ・ウイルスとのゲノム融合が哺乳類の進化系統樹の成長を速めたとするのは仮設の段階に過ぎない。科学は沢山の段階の変遷を実証的に証さねばならないが、それは始まったところと見なした方が良いのかもしれない。

哺乳類生物種とレトロ・ウイルスとの間において、生殖細胞におけるゲノム共生が実現すること自体が驚くべきことだが、それが生物種の間で、一億年間に、幾度も、劇的に、進行して、哺乳類類人猿からヒトへの進化を齎したのは私にとっては殆んど神秘的なこととしか思えない。

黙想会のお知らせ

宝塚黙想の家

■日帰り黙想会 10:00~15:30

11月3日(火)

指導: 稲葉 善章 神父

11月26日(木)

指導: 染野 治雄 神父

11月27日(金)

指導: 山内 十束 神父



■月例黙想会

11月11日(水) 17:00~12日(木) 15:30

指導: 稲葉 善章 神父

各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。 ☎0797(84)3111

11月の年間行事予定の変更・追加

11/1 納骨者合同慰霊祭

11/18 釜ヶ崎訪問を中止

11/21 中高生お泊まり会中止

11/28 子どものお泊まり会中止

11/29 待降節黙想会中止

子どもと共に捧げるミサ中止

編集後記

稲葉神父様の叙階式はコロナ禍の中で、池田教会に希望の光をもたらして下さった。久々の明るいニュースであると感じた。先の見えないトンネルのような状況の中で、暖かい陽の光のような出来事であると感じた方も多いのではないだろうか。神様はこうしていつも私たちに励まして下さる。

2020年も残すところあと2か月、少し早い较去年を振り返ると我が家も大切な愛犬を亡くし、休校が続き、明るいニュースは皆無だったように思う。暖かな陽の光のような出来事は先日あった子供の運動会だろうか。1年生から6年生が晴天の中一生懸命に励むその姿に目頭が熱くなった。たった一年の間でもみんな大きく成長し、未来への希望をキラキラしたその姿に感じた。もうすぐ希望にあふれる待降節が来る。そうして皆がまた暖かな気持ちで今年を終えることが出来ますように。

Ana

今月の表紙写真について

小聖堂での稲葉善章司祭

司祭叙階おめでとうございます。

稲葉善章神父様の略歴

1966年8月3日に横浜市で誕生。

1993年の復活祭に横浜教区戸塚教会で、スカボロ会のジョン・カーティン神父により受洗。受洗準備のためのウオード神父様の黙想会に参加したのが、御受難会との出会い。

2014年3月23日 御受難会で初誓願。

2018年4月15日 終生誓願。

2020年9月26日 司祭叙階。

写真はノノイ神父から提供されました。